

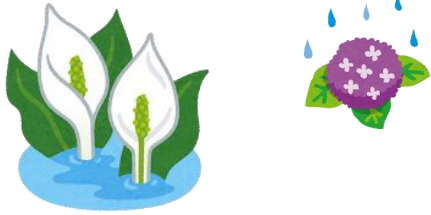
日こく めい こ 克明の子

学校通信
令和8年(2026年)6月2日
発行) 校長 吉川有美子

かていすう
家庭数

げんき 元気なあいさつ

梅雨入りも近いことが感じられる気候の日が増えてきました。早いもので、もう1学期の折り返し地点です。毎朝正門で、子どもたちとあいさつを交わしています。年々あいさつをする子どもが増えていっているように思います。とても嬉しいことです。私も子どもたちのあいさつで元気が膨らみます。朝の登校時間は、たくさん子どもたちと顔を合わせることができるので、とても大切な時間です。私は「今日も元気で登校してくれてよかった、楽しい日にしてほしい。」という気持ちで「おはよう。」と声をかけています。朝の「おはよう」には、命の確認、という意味があるのだそうです。



保護者の皆様の集団登校へのご協力、ご尽力への感謝は言葉では言い表せないほどです。本校の子どもたちが安心して登校できていますのも、ひとえに保護者の皆様のサポートの賜物でございます。本当にいつもありがとうございます。近頃は、集団登校を行わない学校が増えていると聞くこともありますが、本校では、集団登校を行うことで、地域とのつながりや地域の子どもの地域で育てるといった気持ちを長く受け継いでできていると言えます。また、本校では、特に理由がない遅刻がとても少ないのです。こちらでも集団登校による利点だと考えられます。

この集団登校は、保護者の皆様の地道な努力とPTA運営委員の皆様の並々ならぬ配慮によって継続されています。これからも集団登校へのご協力をお願いいたします。

だい かいがっこううんえいきょうぎかい おこな 第1回学校運営協議会を行いました



5月15日10時より、校長室にておよそ1時間半意見交流をしました。議題は①今年度の学校運営方針について②いじめ防止基本方針について、です。最初に校長から、①と②についての説明をし、その後、質問や感想、意見をいただきました。特に学力保障について熟議となりました。昨年度から克明小学校では「書く活動を通して考えや気持ちを伝える力の育成」をテーマに国語科を中心とした「書く」ことについての研究をしています。委員の皆様からは、「読む活動も大事に考えたい」「話す力を育てる授業とは? 克明小ではどのようにしているのですか」「子どもにとって意見を述べるができる力は社会の財産になる」などの意見や質問が出されました。

きしょう けいほう おお か 気象の警報などが大きく変わりました

ニュース等でも報じられ、学校からのお手紙でもお知らせしておりますように「大雨警報(浸水害)」「大雨警報(土砂災害、浸水害)」「大雨特別警報」「洪水警報」の表現が「レベル3大雨警報」「レベル4大雨危険警報」「レベル5大雨特別警報」に変わりました。それに伴って、学校の『非常変災時(大雨・暴風・地震等)の措置について』でも、レベルでの表現になります。

ひじょうへんさいじ おおあめ ぼうふう じしん どう そち
非常変災時(大雨・暴風、地震等)の措置について
れいわ ねん (2026年) 5月29日より

(1) 豊中市もしくは豊中市を含む地域に
「暴風警報」「暴風特別警報」
「レベル3大雨警報」「レベル4大雨危険警報」「レベル5大雨特別警報」
のいずれかが発令された場合

- 登校前
・午前7時~午前10時までの間で発令中.....自宅待機
・午前10時(気象台10時発表を含む)までに解除.....登校(通常授業)
・午前10時を過ぎても発令中.....臨時休業
- 登校後.....状況により学校待機、または一斉下校の措置

※「土砂災害」及び「高潮」の各警報・注意報は関係ありません。

(2) 豊中市に
震度5弱以上の地震が発生した場合

- 登校前.....臨時休業
- 登校後.....状況により学校待機、または一斉下校の措置



せんせい
先生をシャッフル
しての
えほん
絵本の
よき
読み聞かせ